



学校目標 ふるさとを愛し、共に学び、心豊かにたくましく生きる「仁比山っ子」の育成

にこにこ笑顔であいさつ いっしょうけんめい無言で掃除をする やさしさいっぱいなかよくする子
まじめにこつこつ勉強する子 ◎ こころと体をきたえ 進んで運動する子

全校朝会(10/13)の話～引っ越し～

今日は10月
13日です。

「引っ越しの日」です。全国引っ越し専門協同組合連合会が定めたもので、今から150年ほど前明治元年の10月13日に、天皇が江戸城に入ったことにちなんでいます。今日は引っ越しに関係のある話をします。大正5年から昭和46年まで使われていた昔の神埼町役場です(右上)。今の神埼郵便局のところにあったそうです。市役所はその後櫛田宮横に引っ越しをして、昭和46年～今年の9月までこの建物が使われていました。名前も「神埼町役場」から「神崎市役所」と変わりました(右)。そして、これが今の「神崎市役所」です(右下)。神埼市のいろいろな人たちが使いやすく、災害にも強い建物になっているそうです。また、佐賀県内市や町で初めて地中熱を利用した空調を取り入れた環境に優しい建物だそうです。新しい市役所のすぐそばに、公民館、図書館、保健センター、情報館、体育館などがあり、利用しやすくなっています。このことは市報にも載っていました。9月22日、落成式も行われ、神崎市の方々の見学会もありました。



旧神埼町役場
(大正5年～昭和46年)



旧神埼町役場、神崎市役所本庁舎
(昭和46年～令和2年)

では、仁比山小学校の引っ越しを見てみましょう。昭和22年に「仁比山小学校」と名前も変わりました。今は、神崎市立仁比山小学校ですが、神埼町立仁比山小学校と言われる時もありました。そのずっと前は、志波屋、三谷、城原、馬郡に分校もあったんです。これは「仁比山小学校」と言われるようになった初めての年、昭和22年度の卒業生の写真です(右下)。このころ、仁比山小学校の子ども数は832人。現在は、219人ですから、今の4倍ほど子どもたちが学んでいたのですね。続いて「神埼町立仁比山小学校」になったの卒業生の写真です。この頃、全校で728人の子どもたちが学んでいました。これは、今学校に残っている写真の中で一番古い物です(左下)。明治37年度ですから、今から115年前の写真です。この頃の全校の児童数は残念ながら校長室に資料がなくわかりません。



神崎市役所本庁舎
(令和2年～)



昭和22年度卒業生

全児童数832人



これまで紹介した写真を見てみると、どこが違っ

てきたかわかりますね。校舎、服装な

ども変わってきました。時代と共に、変わってきたのがわかります。これらの写真は「職員室」前にありますので、校舎はどうか変わったか、服装はどうだろうか・・・とじっくり見るといいですね。さあ、秋は学習するのにとてもいい季節です。修学旅行でもしっかりと学んでください。図書室には歴史の本や引っ越しの本などたくさんありますよ。たくさん本も読んで「読書の秋」にしましょう。